



前田知憲選手が2大会連続のフレア・バーテンダー世界3位 日本人3人が決勝進出

バーテンダー(フレア・バーテンディング)世界大会「QUEST 2006」

米国・フロリダ、ユニバーサル・シティ・ウォークのザ・グルーヴ・ナイトクラブで開催されたフレア・バーテンディング(以下、フレア)世界大会「QUEST 2006」は、現地時間 10 月 25 日夜にファイナル(公開決勝)が行なわれ、日本から出場した前田知憲(ともひろ)選手が日本人選手の世界大会としては過去最高位タイ、自身では春の世界大会「Legends 8」に続き2度目となる世界 3 位に入賞しました。日本人選手は他に大阪の成田栄治選手が 4 位、前田選手の実弟である前田武頼選手が 9 位に入賞しました。

昨年の4位から一步前進

QUEST 2006 では、選手の競技レベルに応じて「アマチュア」「アドヴァンス」「プロ」の 3 階級で開催され、それぞれ 40 人、33 人、27 人が予選に臨みました。最高レベルである「プロ部門」には、日本人選手すべてが決勝に進出。昨年 4 位だった前田知憲選手が 3 位、成田英治選手が 4 位、前田武頼選手が 9 位入賞と大健闘を見せました。

予選では前田(武)選手が技術の高さを発揮して 2 位、前田(知)選手がミスのない安定した競技内容で 3 位、成田選手が 8 位と、世界の頂点にあと一步まで迫る内容でした。

前田(知)選手自身2度目となる、日本人過去最高の世界3位

25 日に開催されたプロ部門のファイナルは、「スピードラウンド」、通常のバーテンダー業務に加えて技術のダイナミックさなどショー的要素を競う「フレア・ラウンド」、フレア語術に加えてカクテルのオリジナリティをも競う「スペシャリティ・ドリンク・ラウンド」の 3 部門とその合計点を競うもので、前田(知)選手は得意のスピードラウンドでトップに立ちましたが、最終順位は予選と同じく 3 位、成田選手は 4 位に順位を上げましたが、前田(武)選手は 9 位と順位を下げました。

優勝は、2 年連続でアルゼンチンのロゴリゴ・デルペツシュ(Rodorigo Delpech)選手。前田(知)選手は、春の世界大会「Legends 8」に続き、日本人選手として過去最高の成績となりました。

フレア世界大会「QUEST 2006」について

フレア・バーテンディングの世界大会「QUEST」は、過去の実績や技術レベルによって「プロ」「アドヴァンス」「アマチュア」の 3 階級で行なわれ、米国 Flair Bartenders Assosiation(FBA) が主催するものとしては最大規模の大会。毎年秋に開催される同大会は、春に米国で開催される「Legends」(レジェンド)と並ぶ、世界一のフレア・バーテンダーを決める大会として認識されています。

また、FBA では、2005 年から「FBA PRO TOUR」と称して主催大会のレベルを分類しており、同大会は最高位のレベル 5 に位置づけられています。

日本では、フレアの先駆者であり日本フレア・バーテンダーズ協会(FBA JAPAN) 現会長の北條智之と同相談役の石川廣幸が初めて出場した世界大会としても知られています。



日本フレア・バーテンダーズ協会 (FBA JAPAN) について

■「正しいフレア文化を目指した組織」を目指して

FBA JAPAN は、2000年8月1日に現在の前身となる日本フレア・バーテンダーズ・ネットワーク(FBN)として発足しました。

米国・ニューヨークを本部とする「フレア・バーテンダーズ・アソシエーション(FBA)」の会員登録日本人第1号である北條智之(現FBA JAPAN 会長、「カクテルバー・マルソウ(横浜)」ヘッド・バーマン)、韓国スタイルのフレアを習得し、関西でそれを広めた石川廣幸(現FBA JAPAN 相談役、TOPLEO Extreme Flair プロデューサー)、日本のT.G.I.フライデーズにフレアを伝えた久保田琢磨(現FBA JAPAN 相談役、T.G.I.フライデーズ ゼネラル・マネージャー)の3人により「日本における正しいフレア文化の発展」という目的で発足したものです。

当時のFBNは、全国各地でテクニック講習会、アトラクション等でフレアを広める活動を開始。また、競技会開催に向けて、世界最大規模のフレア国際大会「2000 Quest for the Best Bartender in the World」に北條と石川が出場。久保田はT.G.I.フライデーズのフレア国際大会に出場しました。3人の海外経験をもとにスタートした「FBN 全国フレア・バーテンダー・チャンピオンシップ」は、現在のFBA JAPAN チャンピオンシップに名を変え、今年で第6回を迎えます。

■世界の一角となった日本のフレア

2002年10月頃には、FBNの活動と実績がFBAに認められ、石川(西日本代表)、北條(東日本代表)の2名がFBA日本代表者に決まりました。2003年3月、世界におけるフレアでの貢献を評価された石川、北條はFBAアワードの「FBA グロース部門」で表彰され、また、岩本博義が2003年に世界大会「Legends 5」(レジェンド)で世界3位に入賞し、日本のフレア躍進を世界に印象付けました。

■FBAの日本支部として「FBA JAPAN」に改称、そして日本のフレアは世界のトップレベルに

2004年7月、FBNによるフレア文化の浸透と発展を目指した活動が評価され、FBNは正式に、FBAの日本支部としての活動を開始しました。同時に名称はFBA JAPAN(日本フレア・バーテンダーズ協会)となり、現在も世界レベルのフレア・バーテンディングとその普及を目指した活動を展開しています。

2006年3月に開催されたフレア世界最高峰の大会「Legends 8」では、前田知憲の日本人では2度目の3位に入賞したほか、4人の日本人がトップ10位に入り、過去最高の成績となりました。

FBA JAPAN 公式ウェブサイト=<http://www.fba.jp>

Flair Bartender's Association(FBA)について

FBAは、アメリカ人のバーテンダー、アラン・メイズ氏とトビー・エリス氏によって1997年に発足し、同年後半にはアメリカのケン・ホール氏、ジム・アリソン氏、イギリスのステファン・ノートブーン氏、オランダのフィリップ・ダフ氏、カナダのディーン・サニール氏、イタリアのファビオ・ミラニ氏などフレア・バーテンダー30人が集まり、世界的なネットワークが形成されました。翌1998年には、FBAには24ヶ国250名が集まり、2006年10月8日現在では141ヶ国10184名のバーテンダーが会員となっています。

FBA 公式ウェブサイト=<http://www.barflair.org>



What is the Flair? フレア・バーテンディングとは “自己表現”を意味する Flair Bartending

●最古のフレアは 1849 年

フレア最古の記録は、1849年アメリカ・サンフランシスコはエルドラド・サロンのバーテンダー、ジェリー・トーマス氏が開発したカクテル「ブルー・ブレイザー」が始まりとされています。

19 世紀後半にアメリカで活躍した伝説的なバーテンダーは、親しみを込めて“プロフェッサー”と呼ばれていました。カクテル「トム・アンド・ジェリー」や「マティーニ」の考案者としても噂される人物です。「ブルー・ブレイザー」とは、大ぶりの銅製マグを2個用意し、その一つにワイングラス1杯分のお湯と、もう一つの温めたスコッチに火をつけ、燃えさせたまま、お湯の入ったマグに注ぎ込み、またもとに戻す。これを4～5回、青い炎が流れるのを繰り返すというものです。

これが、フレア・バーテンディングらしき事をやっていたという最古の記録であるとされています。

●現代のフレア

現代の、グラスやボトル、ティンなどをスピンのせたりフリップさせたりするフレア・バーテンディングのスタイルと名称は、アメリカのバーテンダー、マイク・ワーナー氏により使われ始めたといわれています。

FLAIR“フレア”とは“アピール”や“自己表現”といった意味があり、バーテンダーがカクテルなどお酒をサービスする過程でお客様を楽しませる事を“フレア・バーテンディング”と呼んでいました。

マイク・ワーナー氏は、初めてゴリラの衣装を着てバーのカウンターに現れ、お客様の前でボトルやバーツールを回転させたりし、それらを巧みに扱い、火喰いショーまでやってみせて以来、フレア・バーテンディングの人気はうなぎ上りに高まったといわれています。

フレア・バーテンディングはその後、1988 年にトム・クルーズ主演の映画『カクテル』によって世界の人たちの目に触れ、一躍知られるようになりました。この映画の舞台になったバーはニューヨークのT.G.I.フライデーズで、トム・クルーズにフレア・バーテンディングを指導したのはサンフランシスコのT.G.I.フライデーズのフレア・バーテンダー、ジョン・バーンディー氏です。

T.G.I.フライデーズは 1965 年に、1号店をニューヨークの 63 番通りファースト・アベニューにオープンして以来、現在 650 店舗以上のチェーン店として世界に拡大しています。

●日本でのフレア・バーテンディングの始まり

わが国でも映画『カクテル』の影響で、見よう見まねのフレア・バーが現れました。しかし、当時は一過性のブームとして消えてしまいます。正しいフレアが伝わらず、指導できるバーテンダーもいなかったためです。1990 年代前半にも外国人たちが集まる酒場でグラスやボトルを回すバーテンダーが現れましたが、まだフレアというものを知る人はいませんでした。

1990 年代後半、フレアが盛んな韓国やシンガポールなどでフレアを学んだバーテンダーや、ジャグリングなどを学びバーに立つ者が確認され、日本にもフレア・バーの足音が聞こえ始めました。

1997 年 5 月、東京の芝浦に日本初と言われるフレア・バー、「ソウル・トレイン・カフェ」(1年後にソウル・スター・カフェに改称)が開店。1999 年 8 月、フレア・バーの老舗で知られるT.G.I.フライデーズ・ジャパンの1号店が東京・渋谷にオープンしました。

現在の日本におけるフレア文化の礎となった FBN(FBA JAPAN の前身)が発足したのは、その後 2000 年のことです。



日本人選手のフレア・コンペティション国際大会結果

開催年	大会名(開催地)	結果	出場者
2000	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	アジア大会初出場	久保田 琢磨
	クエスト・フォア・ザ・ベスト・バーテンダー・イン・ザ・ワールド (アメリカ・オランダ)	世界大会初出場	石川 廣幸 北條 智之
2001	ショーテンダー・インターナショナル・ バーテンディング・コンペティション(アメリカ・デンバー)	スピード部門優勝 フレア部門準優勝	岩本 博義
	クエスト・フォア・ザ・ベスト・バーテンダー・イン・ザ・ワールド (アメリカ・オランダ)	ルーキー部門 7 位	岩本 博義
	バトル・オブ・バースターズ・ワールド・コンペティション (オランダ・クロスビーク)	総合6位	石川 廣幸
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	ポアテストラウンド 1 位	逆瀬川 豊
2002	レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ(アメリカ・ラスベガス)	FBA JAPAN 初出場	北條 智之 岩本 博義
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	総合準優勝	吉原 晋一
2003	第 9 回 金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	6位	北條 智之
	インターナショナル・バーテンディング・フレア・チャレンジ(グアム)	総合優勝	金城 光浩
		総合3位	滝藤 育伸
		ポアテストラウンド1位	江田 毅寿
	サザンコンフォート・バー・ショー・アワード(オーストリア)	5位	宇敷 勝己
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ	総合優勝	金城 光浩
	インターナショナル・ミドリ・カップ	総合8位	長岐 崇
	レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	世界総合3位	岩本 博義
	FBA トリプルチャレンジ・オブ・バーテンディング (アメリカ・パナマシティ)	タンデム部門5位	石川 廣幸 北條 智之
2004	ビッグ・アップル・ショー・ダウン (アメリカ・ニューヨーク)	総合8位	宇敷 勝己
	第 10 回金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	3位	金城 光浩
	アジア・パシフィック・バーテンダー・オブ・ザ・イヤー フレア部門(グアム)	3位	金城 光浩
	インターナショナル・バーテンディング・フレア・チャレンジ(グアム)	総合優勝	矢吹 昌也
	TGI フライデーズ・ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ	ワールドチャンピオン	金城 光浩
	インターナショナル・ミドリ・カップ (オーストラリア・メルボルン)	総合優勝	金城 光浩
	シャルトリューズ・ミックスアビリティ&フレア・コンペティション (オーストラリア・メルボルン)	総合優勝	金城 光浩
	インターナショナル・マリブ・カップ(グアム)	準優勝	相場 雄希
	TGI フライデーズ・アジア・バーテンダー・チャンピオンシップ(グアム)	総合優勝	相場 雄希
	FBA ハイスピリッツ・クエスト (アメリカ・オランダ)	プロ部門総合 6 位	金城 光浩
		アドバンスド部門総合 7 位	市川 寛



2005	レジェンド・オブ・バーテンディング ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	世界 10 位	茂呂 俊文
	TGI フライデーズ・ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ	ワールドチャンピオン	相場 雄希
	ボルス・フレアテンディング・コンペティション 2005(香港)	8位	池田 知明
	パリ・フレア・オープン 2005(パリ)	6位	金城 光浩
		8位	市川 寛
	ビッグアップル・ショーダウン 2005(ニューヨーク)	9位	前田 慶裕
	金樽杯国際アワード・コンペティション フレア部門(台北)	アジアチャンピオン	中山 信祐
	クエスト 2005(アメリカ・オーランド)	4位	前田 知憲
		8位	茂呂 俊文
The FBA Blue Blazer(ラスベガス)	9位	岡沼 弘泰	
2006	レジェンド・オブ・バーテンディング・ ワールド・バーテンダー・チャンピオンシップ (アメリカ・ラスベガス)	世界総合3位 (予選 2 位)	前田 知憲
		6 位	前田 武頼
		8 位	金城 光浩
		9 位	茂呂 俊文
	第 12 回 金爵奨国際カクテルコンペティション フレア部門(台湾・高雄)	3 位	小林 直樹
	キング・オブ・リング(アメリカ・ラスベガス)	タンデム部門3位	矢吹 昌也 羽田 善行
	ゴールド・シェイク・カップ(韓国)	タンデム部門優勝	矢吹 昌也 羽田 善行
	クエスト 2006 (アメリカ・オーランド)	世界総合3位	前田 知憲
		4 位	成田 栄治
		9 位	前田 武頼